

「外国につながる子どもたちの教育環境を考える」学習会

1. 生活の現場からの報告

- 中高生学習サポートの現場から
- 子育ての母親支援の現場から
- 外国人世帯が抱える貧困の課題

2. 外国人住民基本台帳と外国人のこどもの教育権

11月13日(金) 午後7時～9時

川崎市ふれあい館 ホール

参加費:無料

川崎駅東口バスターミナル臨港バス9番乗場「大師」行きバス乗車約10分「四ツ角」下車徒歩約5分



主催 かわさきへコミュニケーション・ボランティア
Tel 044-288-2997

ながびく なが 新しく不況の中、新しく日本に来て暮らす外国人が抱える生活課題は、いっそう深刻さを増し、そのこともたちをとりまく生活環境について、強く支援強化の必要性を感じています。親が日本の教育について不慣れな上、「子どもでいるだけではない」生活環境重なることで、今、地域社会に公的支援を必要としている外国につながる子どもたちが、少なからずいて、関係者の心を悩ませています。

ふれあい館に集い、共生を願い、地域生活を分かち合う私たちは、外国人市民がどのような生活課題を抱えているのか、解決するため、どのようなことが必要であるのかを見据えて、地域から共生の声を大きくしていかなければならないと思います。

新しく日本に来て暮らす外国人の子どもたちは、かつて在日コリアンがたどられた厳しい状況と同じよう繰り返させられています。進路への不安、基礎学力不足、「非行」、貧困。地域生活の現場から報告を聞き、あるべき共生社会をみんなで展望したいと思います。多くの市民の参加を呼びかけます。